
QA12 なぜ、食品区分を4区分としたのでしょうか

食品区分の設定に当たっては、

- ・ 個人の食習慣の違い（摂取する食品の偏り）の影響を最小限にすることが可能であること
- ・ 国民にとってわかりやすい規制となること
- ・ 食品の国際基準を策定する国際連合食糧農業機関（FAO）と世界保健機関（WHO）の合同会議であるコーデックス委員会などの国際的な考え方と整合すること

を考慮して、食品全体（一般食品）を1つの区分とすることを基本としました。

ただし、飲料水については、

- ・ すべての人が摂取し代替がきかず、その摂取量が大きいこと
- ・ 世界保健機関（WHO）が飲料水中の放射性物質のガイダンスレベルを示していること
- ・ 水道水中の放射性物質は厳格な管理が可能であること

を踏まえ、独立した区分としています。また、子どもの摂取量が特に多い牛乳及び乳児が食べる乳児用食品については、食品安全委員会が食品健康影響評価において、「小児の期間については、感受性が成人より高い可能性」を指摘していることを踏まえ、独立した区分としています。

出典：厚生労働省「食品中の放射性物質に係る基準値の設定に関する Q&A について（平成24年7月5日）」より作成

出典の公開日：2012年7月5日

本資料への収録日：2012年12月27日